

平成 27 年度

予算の大要と施政方針

平成27年度予算の大要と施政方針

平成27年3月2日

幸田町長 大 須 賀 一 誠

愛と幸せのある 安心して暮らせるまちを目指して ～未来に向けた魅力あるまちへの計画づくり～

本日、平成27年第1回幸田町議会定例会の開催にあたり、新年度予算及び諸議案のご審議をお願いするに際しまして、ここに町政運営に臨む所信を明らかにし、町民の皆さまをはじめ議員各位のご理解とご協力をお願いしたいと存じます。

さて、社会経済情勢は、アベノミクスなどの経済対策により、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、消費税率が引き上げられた影響もあり、個人消費等に弱さがみられる状況となっています。本町におきましても、町民税・固定資産税など、町税全体では前年度比1.3%増の84億7,000万円と見込み、平成27年度当初予算を編成いたしました。

このような情勢ではありますが、本町の行財政運営にあたっては、防災・安全対策と将来を見据えた計画づくりを重点施策と位置付け、子育て支援や教育などの施策にも配慮し、また、夢のあるまちづくりのために駅前や3地区の都市基盤整備など積極的に取り組んでまいります。また、将来に向け、第6次幸田町総合計画などの各種計画の策定や、公共施設等総合管理計画など各施設の長寿命化計画・修繕計画の策定をおこなうなど行政改革に努め、持続可能な財政運営を図ってまいります。

新年度予算は、このような認識のもと「愛と幸せのある 安心して暮らせるまちを目指して」をキーワードとし、予算編成にあたりましては、「未来に向けた魅力あるまちへの計画づくり」に向け、笑顔のあふれるハッピーランドとなるよう町の将来展望に立ち、可能な限りその負託に応えるべく配慮いたしました。

ここで、新年度の予算の概要につきまして、触れさせていただきます。

平成27年度当初予算案の概要

1 予算の規模

平成27年度当初予算の規模は、一般会計及び7つの特別会計並びに企業会計合わせて225億1,433万円となり、前年度に対しまして12億865万円、5.7%増となっております。

一般会計につきましては、総額137億9,000万円（対前年度比5.1%増）といたしました。その詳細につきましては、後ほど述べさせていただきます。

特別会計であります。土地取得特別会計につきましては、総額2,280万円（同22.7%減）といたしました。用地の先行取得費が歳出の主なものであります。

国民健康保険特別会計につきましては、保険財政共同安定化事業拠出金の大幅増を見込み、総額36億9,076万円（同16.9%増）といたしました。

後期高齢者医療特別会計につきましては、後期高齢者医療広域連合納付金の増を見込み、総額3億1,167万円（同4.9%増）といたしました。

介護保険特別会計につきましては、介護サービス給付費等の増を見込み、総額17億4,475万円（同2.6%増）といたしました。

幸田駅前土地区画整理事業特別会計につきましては、事業の計画的推進をしているところ、県道など道路等整備工事費の増により、総額3億6,972万円（同14.6%増）といたしました。

農業集落排水事業特別会計につきましては、全13地区の各施設などの維持管理及び町債の償還に要する経費が主なもので、総額3億8,859万円（同0.9%増）といたしました。

下水道事業特別会計につきましては、施設の維持管理及び汚水処理に要する費用並びに町債の償還が主なもので、2地区の土地区画整理地内の整備等により、総額7億5,556万円（同3.1%減）といたしました。

最後に、水道事業会計につきましては、収益的支出にあっては、7億2,861万円（同8.6%減）、また、資本的支出にあっては、永野ポンプ場更新工事や区画整理関連工事などにより7億1,189万円（同0.6%減）といたしました。

2 一般会計歳入

一般会計の歳入であります。町税の総額につきましては、前年度比1.3%増の84億7,866万円といたしました。

その内訳といたしましては、個人町民税につきましては、納税義務者数の増加及び給与所得の伸びなどにより対前年度9,400万円(同4.1%増)の増とし、また、法人につきましては、地方法人税の創設による一部国税化の影響もありますが、自動車関連企業をはじめとした企業業績を見込んで、6,040万円(同4.9%増)の増とし、町民税総額を36億9,060万円、対前年度1億5,440万円(同4.4%増)の増といたしました。

固定資産税につきましては、土地分は評価替えによる増、家屋分は区画整理地内の新築住宅増はあるものの、評価替えによる減価の影響から減となり、償却資産分につきましては若干の伸びはありますが依然厳しい状況であり、固定資産税総額を41億3,996万円、対前年度3,594万円(同0.9%減)の減といたしました。

軽自動車税につきましては、引き続き販売好調と見込んで7,650万円とし、たばこ税につきましては、健康志向の高まりによる売上本数の減少に伴い対前年度600万円減の2億7,900万円といたしました。

入湯税につきましては、利用客が減少傾向であることから、若干の減を見込み360万円とし、都市計画税につきましては、固定資産税と同様の理由により対前年度400万円減の2億8,900万円といたしました。

地方譲与税につきましては、1億2,500万円、利子割交付金につきましては、1,500万円とそれぞれほぼ前年度並みを見込み、配当割交付金につきましては、上場企業の業績回復により対前年度1,400万円増の4,400万円、株式等譲渡所得割交付金につきましては、ほぼ前年度並みの700万円と見込みました。

地方消費税交付金につきましては、消費税の税率が8%になったことから、対前年度2億6,000万円の大幅増の6億8,000万円と見込みました。ゴルフ場利用税交付金につきましては、ほぼ前年度並みの2,100万円とし、自動車取得税交付金につきましては、税制改正により、自動車取得税のエコカー減税の対象基準が見直され、減税の内容

が縮小されることから、対前年度1,000万円増の4,200万円、地方特例交付金は前年と同額の3,300万円といたしました。

地方交付税につきましては、引き続き不交付団体と見込み、特別交付税は科目維持といたしました。交通安全対策特別交付金は、実績を考慮し対前年度100万円減の500万円といたしました。

分担金・負担金につきましては、園児数の増加による保育料保護者負担金の増などにより、総額2億2,364万円（同13.2%増）とし、また、公営住宅や公共駐車場などに係る使用料・手数料につきましては、保育所私的契約児施設使用料の減と、一般廃棄物収集・処分手数料の増などにより、ほぼ前年度並みの2億2,009万円といたしました。

国庫支出金につきましては、児童手当負担金や臨時福祉給付金給付事業費補助金、子育て世帯臨時特例給付金給付事業費補助金、野場横落線整備などに対する社会資本整備総合交付金などにより国庫支出金の総額は、10億4,793万円（同0.6%減）とし、県支出金につきましては、農地多面的機能支払交付金や中学校への太陽光発電システム等設置に係る再生可能エネルギー等導入推進基金事業費補助金などにより総額7億4,921万円（同15.0%増）といたしました。

財産収入につきましては、基金利子が主なもので、総額2,307万円（同24.2%増）といたしました。

寄附金につきましては、科目維持といたしました。

繰入金につきましては、それぞれの行政需要に対応するため主に基金財源で補てんすることとされていますが、全体の財源調整として財政調整基金からの繰入を行い、総額11億2,521万円（同0.2%増）といたしました。

繰越金につきましては、前年度同様3億円といたしました。

諸収入につきましては、小中学校給食費が主な収入で、総額4億8,017万円（同6.4%増）といたしました。

町債につきましては、消防救急無線デジタル化整備事業に1億7,000万円（同325.0%増）といたしました。

3 一般会計歳出

義務的経費（人件費・扶助費・公債費）につきましては、町民会館、図書館の建設事業債や減税補てん債の償還完了による公債費の減により、1億5,344万円減（同2.4%減）の総額62億931万円であります。

投資的経費（普通建設事業費・災害復旧費）につきましては、3億4,803万円増（同42.2%増）の総額11億7,296万円あります。普通建設事業の主なものといたしましては、消防救急無線デジタル化整備事業、深溝里地区外道水路整備事業、幸田中学校・南部中学校太陽光発電設備設置事業、道路新設改良事業（野場横落線、長嶺1号線等）であります。

その他の物件費・維持補修費・補助費などの経費の合計は、4億7,540万円増（同8.1%増）の総額63億7,774万円あります。増加した主な要因は、物件費において、社会保障・税番号制度システム対応や基幹系業務システムの再構築等による大幅な増、維持補修費では町民会館等の修繕、また国保・介護等の特別会計への繰出金の増加によるものであります。

以上が平成27年度一般会計予算の概要であります。

施政方針

改めまして、町政2期目を担当させて頂き、初めての予算を編成するにあたり、私の施政方針を申し述べ、町民の皆さま及び議員各位のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

景気は緩やかな回復基調を続けていますが、町民税・固定資産税など大幅な伸びは見込めない状況となっており、重点施策を中心に、後年度負担を配慮し選択と集中の視点に立ち、行政運営を進めるとともに、職員の資質向上を図り、町民の皆さまのご意見やご要望にお応えして参りたいと考えております。

このような状況ではありますが、新年度においても、安全で快適な生活環境づくりと、子育てなど住民が安心して暮らせるまちの実現を最重点とし、また、まちづくりの基本指針であります第5次総合計画に掲げる6本の柱を中心に、「夢のある 心のかよう 活力あるまち」、「人と自然を大切にする緑住文化都市」の実現に向けて、全力で取り組んでまいり所存であります。

第1に、安全で快適な都市の基盤・生活の環境づくり

安全・安心施策につきましては、防災・減災対策に万全を期し、災害に強いまちづくりに向け、自主防災組織の防災力向上と住民一人ひとりの防災意識の高揚を更に図るとともに、巨大地震がいつ起きてもおかしくない今、荻谷小学校体育館吊り天井耐震化工事や幸田中学校・南部中学校への太陽光発電施設設置など、基幹避難所の整備に努めるとともに、民間木造住宅耐震改修費補助をはじめとした耐震化促進に向けた各種の補助制度を推進し、被害を最小限に抑えてまいります。都市公園につきましては、適正な維持管理に努めるとともに、老朽化している公園施設の改修・更新に取り組み、永野公園のトイレ改修についても検討を行います。

交通・防犯対策につきましては、「幸田町地域安全ステーション」を交通・防犯の活動拠点とし、警察、地域、学校、自主防犯組織との連携強化を図り、交通事故防止と犯罪抑止のネットワーク体制の強化に取り組んでまいります。交通安全啓発活動による交通事故防止と防犯カメラの設置による犯罪抑止を図るとともに、防犯灯につきましてはリース事業

によるLED化の促進を図ってまいります。道路の安全対策につきましては、webカメラの設置により鉄道アンダー交差部の道路冠水状況をいち早く情報提供を行い、また、道路交通の危険個所での注意を促す電光掲示板を設置するなど、安全・安心なまちづくりに努めてまいります。

コミュニティバス（えこたんバス）につきましては、誰もが気楽に利用できる移動手段として、子どもたちのためのスクールタイムバスとして、引き続き日常生活の中において重要な足となるよう、名鉄バス運行廃止に伴う新たなバス停を追加し、若干のルート変更も行い、利用サービスの更なる向上に努めてまいります。

便利で快適な生活をする上で道路・区画整理・上下水道などの生活基盤の整備充実は、まちづくりの基本となるものであります。道路橋梁整備につきましては、町道の拡幅改良や生活に密着した集落内道路の整備を重点的に実施します。舗装路面の性状調査に基づき、傷みの激しい路線・箇所を順次修繕を行ってまいります。また、道路橋梁定期点検を計画的に実施するとともに、橋梁修繕工事を進めてまいります。菱池遊水地につきましては、土地利用計画を引き続き策定してまいります。

土地区画整理事業につきましては、幸田駅前地区は、事業計画に基づき県道、区画道路整備及び建物移転に取り組み、また、岩堀・六栗・里の3地区につきましても、順次整備し都市基盤の整備を推進してまいります。

衛生的で、安心して住みたくなるまちづくりには、住環境の整備が重要で、上下水道の整備は欠かせないものであります。上水道につきましては、「安全」、「強じん」、「持続」、の観点から水道施設の耐震対策として、永野ポンプ場更新工事や重要給水拠点へのライフライン機能強化事業を行います。また、土地区画整理事業にあわせ、配水管布設などの水道施設整備を進めてまいります。公共下水道につきましては、北部処理分区及び、六栗・里の2地区の土地区画整理地内の整備を推進し、引き続き環境の保全と良好な住環境確保に取り組んでまいります。農業集落排水事業につきましては、農業集落排水処理場の機器整備をはじめとして適正な維持管理に取り組んでまいります。

消防・救急の充実につきましては、現在、全国で消防救急無線のデジタル化が進行中であり、本町においても平成28年4月の運用開始を目標として準備を進めてまいります。また高齢化などの要因により、今後

も救急需要は増加していくことが予想されます。救急隊員の養成及び資格取得による資質の向上、並びに専門教育の研修実施により火災・救助活動の技術の高度化に取り組んでまいります。また、住民とともに救命講習の普及及び啓発にも力を注ぎ救命率の向上や、防災拠点として燃料の確保にも取り組んでまいります。引き続き消防団の強化として第2分団第1部車庫兼詰所の移転計画を進めてまいります。

また、発生が懸念されている大規模災害に備えるため、避難所に指定されている南部中学校に防災備蓄倉庫を設置し、避難所に必要な防災資機材や避難所内での環境等の改善を図るための資機材を整備し、自主防災組織につきましては、引き続き補助事業の推進を図ってまいります。

第2に、環境と調和するまちづくり

CO₂など温室効果ガスによる地球温暖化問題や不法投棄などによる生活環境等の悪化は、地球全体の課題であり、また、地域全体で取り組まなければならない課題となっております。

本町では、引き続き新エネルギーの積極的な活用の推進として太陽光発電システム等を町民の皆さまが導入するための補助制度を継続し、新たに、次世代自動車の普及推進として個人及び事業者に対し補助をしてまいります。また、資源循環型社会を構築するために一層の廃棄物減量・資源化及びリサイクルを推進し、良好な生活環境保全を図ってまいります。

近年の市街化編入に伴う人口増加、住民の定住志向の高まり、埋葬方法の多様化などにより墓地に対する要望が高まりつつあります。このため、墓地公園の基本構想を策定し、墓地整備の在り方を検討してまいります。

ソフト面につきましては、自然観察会や環境学習講座などの環境活動を通じて、子どもたちからお年寄りまで幅広く町民の皆さまに自然の大切さや環境問題に対する意識の高揚を図ってまいります。

第3に、多様な産業が育つまちづくり

近年の農業を取り巻く環境は、担い手の減少や高齢化が進み、経営は依然として厳しい情勢となっております。このような中で、農業者が将来に向けて効率的かつ安定的な経営に取り組めるような支援を行うと共

に、新たな農地集積事業として「農地中間管理事業」に取り組み、農地の効率的、有効的活用の支援をする一方、担い手育成に向けた貸農園と合わせた農業研修を開始するなど、町・生産者・JAなどが一体となって振興を図ってまいります。

特産物の販売促進につきましては、食育・地産地消事業、産業まつりなどを通じたPR活用やマスコミを活用した宣伝効果による販売促進及び町内購買力の向上を図るとともに、安全で安心な農産物の供給と収穫の支援についての仕組みづくりを検討するなど、産地ブランドの確保にも努めてまいります。特に、幸田町の主要農作物である「いちご」につきましては、集荷ラインの老朽化に加え、出荷資材の変化に対応するため、あいち三河農協が行う選果ラインの更新工事に対し補助を行い、出荷効率と作業者の労力軽減が図られるよう支援してまいります。

また、近年では特に地元の農産物・旬のものを地域で消費する地産地消の促進と特色ある農産物加工品の創出が注目されており、これまで以上に農業団体との連携や道の駅「筆柿の里・幸田」を活用して、より具体的な方策を検討してまいります。特に、筆柿の古木に注目し、古木の実管理と共に宣伝アイテムの一つとして活用し、幸田町の特産物の宣伝、販売促進を支援してまいります。

更に、道の駅「筆柿の里・幸田」においては、各種イベントを開催し、町内外から訪れる方々に新鮮な農産物などを提供し、リピーターの増加を引き続き目指してまいります。

鳥獣害対策につきましては、今年度から国の補助事業であります「鳥獣被害防止総合対策」を地域組織の協力を得て実施します。なお、侵入防止対策補助やカラス等の捕獲などの事業についても引き続き実施をしてまいります。

農業・農村の多面的機能の発揮のための地域活動や、営農の継続等を図る対策としての多面的機能支払交付金制度につきましては、引き続き実施をし、農業、農村環境の整備及び農業基盤の保全を図ります。

林業の振興につきましては、緑化推進を図ると共に、林道の維持補修の継続や林道一之小屋線の整備を進め、安心して作業のできる環境づくりも努めてまいります。

商工につきましては、中小企業の経営支援を図るため、小規模企業等振興資金原資の金融機関への預託や信用保証料補助を継続してまいりま

す。幸田駅前につきましては、駅前再開発を契機として、商業の発展を図るべく、商業関連施設の整備推進を支援する一方、賑やかで活気ある街づくりが図られるようイベント等を支援してまいります。

観光につきましては、道の駅「筆柿の里・幸田」や「彦左まつり・しだれ桜まつり・大井池桜まつり」、また「あじさいまつり」などイベント事業の宣伝などにより誘客に努めてまいります。また、三ヶ根駅前休憩所のトイレ改修等を行い利便性の向上を図ります。

企業立地につきましては、平成25年度に策定いたしました企業立地マスタープランの推進や、プレステージレクチャーズーものづくり日本講演会ーに継続して取り組むとともに、新たに実施する幸田ものづくり研究センター事業を通して、企業の経営改善指導及び創業等に係るものづくり人材の育成支援を進めてまいります。また、工業団地の開発に向けた調査を行い、積極的に企業誘致に努め、地域の特性を生かした新産業と雇用の創出を目指してまいります。

第4に、健康・福祉のまちづくり

健康のまち推進事業につきましては、平成25年度に策定しました「第2次健康こうた21計画」の実践を進め、子ども・働きざかり・熟年期までの町民の健康づくりの推進と安心して子育てができるための支援の充実に取り組んでまいります。

予防接種事業につきましては、子どもや高齢者の予防接種の実施と、引き続き高齢者肺炎球菌ワクチンの任意接種助成、風しん対策事業として抗体検査、ワクチン接種に対する補助を行ってまいります。また、新型インフルエンザ等対策として、まん延防止のための準備を進めてまいります。

健康増進事業として、人間ドック・住民健診やがん検診を推進し、引き続き女性特有のがん検診の受診勧奨に力を入れてまいります。

母子保健事業につきましては、赤ちゃん訪問員や専門職による訪問事業や妊婦健診・乳幼児健診の実施、一般不妊治療に対する助成等を継続的に進めてまいります。

児童福祉につきましては、まずは子どもの命と安穏な生活を保障すべく、児童虐待の予防と対応に努めてまいります。また、平成27年度から施行される「子ども・子育て支援新制度」に対応すべく、「幸田町子ど

も・子育て支援事業計画」に基づき、各種事業に取り組んでいきます。特に、各保育園における就学前児童の受入及び幸田第3児童クラブの新設等児童クラブにおける放課後児童の受入を拡充することにより、共働き家庭の子育てを支援してまいります。それに加え、民間の就学前教育及び保育施設の奨励・支援及び誘致に努め、町立保育園の民営化や安心安全な子どもの居場所づくりとしての児童館の建設等についても調査・研究してまいります。子育て家庭に対する経済的な支援といたしましては、私立幼稚園入園料補助金及び就園奨励費補助金、児童手当等の交付・支給に加え、規模縮小での実施にはなりますが平成26年度に引き続き、国の「子育て世帯臨時特例給付金」の給付に取り組んでまいります。

障がい者福祉につきましては、障がいがあってもその人の持つ能力や適性に応じ、自立した日常生活や社会生活を営むことができ、安心して暮らすことのできる地域社会の実現が必要です。障害者総合支援法による障害福祉サービスの更なる充実を図るとともに、さまざまな課題を抱える障がい者に対する的確な対応と支援を図るため、障がい者相談支援事業を継続してまいります。さらに、身体障害者手帳の交付対象とならない「軽度・中等度の難聴児補聴器購入助成制度」に新たに組み込みます。

高齢者福祉につきましては、高齢者の皆さまが住み慣れた地域で安心して暮らせるように介護保険事業計画に基づき介護予防事業などの充実や新しい総合事業への対応推進に努めるとともに、介護保険の対象とならない高齢者の在宅サービスや在宅で介護されている方達の負担軽減を図るため、紙おむつや在宅介護手当の支給についても継続してまいります。

福祉医療につきましては、中学校卒業までの子ども医療費の無料化の継続や、母子家庭等、障がい者、後期高齢者の福祉医療による給付の支援を行い、安心して医療が受けられるよう引き続き努めてまいります。

第5に、地域文化・人づくり

学校教育につきましては、「生きる力」を育み、心身ともに健やかな児童・生徒の育成を目指し、各学校が創意工夫に努め、特色ある教育、学校づくりを進めてまいります。「日本語指導、少人数指導、通級指導、並びに、学級補助嘱託教員」、「母国語対応支援員」、「特別支援介助員」、「理

科支援員」といった従来の施策を継続、充実させ、子どもたちの基礎学習の充実を図ると共に、一人ひとりの実態に合わせたきめ細やかな対応に努めてまいります。

また英語教育の充実にも積極的に取り組み、保育園の英語あそび事業の拡充や外国人英語講師の増員、教員の英語授業研修を行うとともに、引き続き、中学生の海外派遣により国際交流を深めてまいります。

学校施設の整備につきましては、幸田小学校校舎外壁補修実施設計・ガラスへの飛散防止フィルム貼り・体育館天井耐震化により地震対策を進めると共に、トイレ改修工事、学校図書館空調設備設置、太陽光発電設備設置などの環境整備にも順次取り組み、併せ、今後予想される北部地区の急激な児童・生徒数増加に対応するため、計画的な学校施設整備を行ってまいります。

また、コンピュータ室機器更新、理科教材購入など、備品整備も継続し、より良い学習環境を整えてまいります。

給食センターの運営につきましては、地元農産物の活用の推進、アレルギー対応給食メニューの検討、より高い衛生管理の実施により、安全安心でおいしい給食を提供できるよう努めてまいります。

生涯学習につきましては、各種講座の開催や学習に関する情報の提供、活動場所の整備を行うとともに、学ぶ喜び、成長する喜びが広がるよう努めてまいります。乳幼児から高齢者までのあらゆる世代の学習意欲を高め、その意欲に応え、健康で心豊かに生きがいのある人生を送り、夢と活気にあふれる地域社会の原動力となるよう事業を推進してまいります。

「心豊かで笑いと楽しさあふれる町づくり運動」を推進するライフサークル事業につきましては、年々盛り上がりを増している「こうた夏まつり・こうた凧揚げまつり」を中心に、町民相互の親睦を深められるよう努めてまいります。

町民のふれあいの場、生涯学習の拠点となる社会教育施設につきましては、快適で安心して利用できる施設となるよう、文化広場希望の塔の改修工事をはじめ、各施設の整備を図ってまいります。

文化財の保護活用につきましては、所有者との連携を強めながら、町内文化財の保護に努めてまいります。国指定史跡島原藩主深溝松平家墓所の整備事業を進めて行くとともに、歴史的に深いつながりのある島原

市や福知山市、豊後高田市などとの歴史と文化の友好交流を積極的に進めてまいります。

文化・生涯学習の拠点でありますハッピーネス・ヒル・幸田と中央公民館を中心として文化・生涯学習に関する諸施策の推進を図るとともに、町民会館の大規模修繕に向け改修計画の策定などに取り組んでまいります。

スポーツ振興につきましては、体育協会、スポーツ推進委員、地区スポーツリーダーとの連携を図り、町民大運動会や新春駅伝・ファミリージョギング大会などを開催し、住民がスポーツをとおして地域の絆を深め、心と体の健康増進のできる機会づくりに努めてまいります。また各地域コミュニティで行われるスポーツ活動の支援やスポーツ指導者の発掘・育成にも努力してまいります。

また、ものづくりのまちとして子どもたちが楽しく学び、豊かな創造力を育めるよう、少年少女発明クラブへの補助を引き続き行い、本町の将来を担う子どもたちの育成に力を注いでまいります。

第6に、健全な行財政による確かなまちづくり

町民に最適な行政サービスを提供し続けるためには、将来にわたり健全な財政を堅持しなければなりません。そのためには、限られた財源と資産を有効に活用し、住民の目線に立ち、バランスのとれた行政運営を目指してまいります。

普通建設事業につきましては、その指針となる第5次総合計画が最終年度となりますが、第6次総合計画の策定と併せ、財源やその必要性・緊急性などを考慮し「実施計画」を見直し、各種事業の実施にあたっては、極力補助金などの財源を確保し、選択的・重点的に取り組んでまいります。

地方債の活用につきましては、プライマリーバランスを堅持し、将来に大きな負担とならないよう計画的に発行してまいります。また、収入に対する借金返済の割合である実質公債費比率につきましては、平成25年度決算において昨年度に引き続き県内54市町村中ワースト7に位置しており、今後も公債費の減少に取り組み、一般財源の確保を図り、持続可能な財政構造の実現を目指してまいります。

さらに、幸田町公共施設等総合管理計画を策定し、公共施設等の長寿命化や適正な管理運営に努めるとともに、幸田駅西第2駐車場の借地解消や借地料の減額を図るなど、積極的に将来の財政負担の軽減に努めてまいります。

人員配置につきましては、重点分野に対しては優先配置をしつつ、多種多様化する行政需要に対処すべく、職員一人ひとりの資質向上を図り、最大の効果が得られるよう努めてまいります。

新電力からの電力調達につきましては、積極的に推進し、本年度も新たな施設を加え、公共施設の更なる経費削減に努めてまいります。

情報公開につきましては、行政情報を迅速かつ正確に町民に提供し、町民の理解を深め、行政の説明責任を果たし透明性を確保してまいります。

また、町民の皆さまに質の高い行政サービスを提供し、事務運営の効率化を図るために、電算システムの再構築や改修に取り組んでまいります。

行政改革につきましては、第11次行政改革大綱に基づき、行財政の効果的かつ合理的運営に取り組むとともに、住民サービスの更なる向上に努めてまいります。

広域行政につきましては、消防指令業務の共同運用を始め、近隣市と積極的に協力体制を整え、事務事業の推進状況及び事業効果を見極めつつ、住民サービスの向上に向けた広域的連携に努めると共に、深溝松平家ゆかりの関係市との交流を深めてまいります。

本年度は、第5次総合計画の最終年度であり、第6次総合計画への橋渡しとなる大事な年度と捉えております。

以上、予算の大要と施政方針につきまして、私の所信の一端を述べさせていただきました。本町の行財政運営につきましては、限られた財源と資産を有効活用し、将来にわたって持続可能なまちづくりに取り組み、「第5次総合計画」及び「実施計画」に基づき、町民目線に立ったまちづくりを進めてまいります。その諸施策の実現にあたりましては、安全で快適な生活環境づくりと子育てなど住民が安心して暮らせるまちを目指し、全職員一丸となって取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、本定例会にご提案いたしましたすべての議案が円滑に審議され、ご可決承認賜りますようお願い申し上げます、平成27年度の予算の大要と施政方針といたします。